

2. 計画の策定

(1) 年度活動計画の策定

点検活動や機能診断の結果を踏まえて、実践活動に関する年間の活動計画を策定すること。

※本手引き「第2章 実践活動」を参照。

【活動のねらい】

農用地、水路、ため池、農道等の施設について、その施設能力の維持・発揮に資するため、点検結果に基づく保全活動、異常気象後の見回りの役割分担等について年度活動計画を策定し、計画に沿って効率的に活動を行うことが大切です。

【活動内容】

活動計画書に位置付けた農用地、水路等に関し、今後の活動として位置付けられた農地維持活動について、点検結果に基づいて、実践活動の対象施設、活動項目、実施時期、実施範囲、実施内容、役割分担等、具体的な年度活動計画を策定します。

年度活動計画の記載様式は自由ですが、次頁に2種類例示します。

【配慮事項】

- ・計画の作成に当たっては、対象組織の構成員が活動に参加しやすい曜日や作業分担となるよう留意することが大切です。計画を周知するため、地区の公民館や集会所に掲示したり、回覧板・広報誌等を活用し参加を構成員に呼びかけることが必要です。
- ・また、作業当日に向けて、緊急対応のために、事前に水土里ネットや市町村関係者、医療機関との連絡体制をつくっておく必要があるとともに、危険箇所の把握や傷害保険への加入など不測時の対応について検討することも重要です。
- ・点検結果や市町村から通知される実施状況の確認通知書の内容により、遊休農地発生防止のための保全管理を行う必要のある農用地が新たに判明し、その農用地を解消すべき遊休農地として計画に位置付けた場合は、活動期間内にすべて解消する必要があるため、計画的に保全管理することが重要です。

(様式 1)

実施予定時期	活動の内容		参加者	活動場所
	施設	活動項目・内容		
3月中旬	開水路	開水路の目地詰め	〇〇水路関係農業者	〇〇水路全域
4月中旬	開水路	水路の泥上げ	〇〇水路関係農業者	〇〇水路全域
5月中旬	農道	路肩・法面の草刈り 側溝の泥上げ	責任者: 〇〇 △△、□□、××	〇〇線 △△分岐～××地点

※「活動場所」は、点検の結果、施設全域ではなく活動の場所を特定する場合に記載
 「活動項目・内容」は、活動指針の活動項目および具体的な活動の内容を記載

(様式 2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な分担
農用地												⇔ 点検	農業者
			⇔ 草刈り				⇔ 草刈り						農業者
			⇔ 遊休農地の保全管理										農業者
開水路												⇔ 点検	農業者
	←		⇔ 配水操作				⇔ 草刈り						農業者
	⇔		⇔ 草刈り										農業者 自治会 農業者 自治会
ため池	⇔											⇔ 点検	農業者
	⇔	⇔ 見回り		⇔ 見回り		⇔ 見回り		⇔ 見回り		⇔ 見回り			農業者
	←		⇔ 配水操作										農業者
			⇔ 草刈り				⇔ 草刈り						農業者 水土里ネット
							⇔ 泥上げ						農業者 水土里ネット
	⇔												農業者
	←												農業者
農道												⇔ 点検	農業者
			⇔ 砂利補充										農業者
			⇔ 草刈り				⇔ 草刈り						農業者 自治会
	⇔												農業者